

鴛小プラン2023

～令和5年度 利尻富士町立鴛泊小学校経営方針～

I 学校の教育目標

(1) 学校教育目標 (令和5年4月1日制定)

《全体目標》「学び」で未来を創造する

- 《具体目標》
- 1 主体的に学び、確かな資質・能力を身に付けた児童
 - 2 他者と協働し、よりよい生き方を考えられる児童
 - 3 心身が健康で、ねばり強く努力できる児童
 - 4 地域・社会に学び、参画できる児童

(2) めざす学校像

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| ○子どもにとって居場所があり、安心して楽しく学べる学校 | (行きたい学校) |
| ○保護者にとって開かれており、信頼できる学校 | (行かせたい学校) |
| ○地域住民にとって経験や知識が活かされ、共に学び続けられる学校 | (行ってみたい学校) |
| ○教職員にとって創意が活かされ、保護者・地域と共に子どもを育てられる学校 | (働きたい学校) |

(3) めざす教師像

- | | |
|------------|--------------------------------------|
| ○児童と共にある教師 | … 全ての児童を生かすよう努める |
| ○授業で勝負する教師 | … よりよい授業実践に努める |
| ○情操豊かな教師 | … 和の姿勢で、豊かな人間性を持つよう努める |
| ○責任感の強い教師 | … 自分の指導に責任をもつよう努める |
| ○研修に励む教師 | … 自分に必要な研修 を積極的に取り組み、自己研鑽に努める |

II 基本方針

- (1) 児童のことを第一に考える。自分が保護者だったらと考える
- (2) 教師と児童、児童同士、教師と保護者、学校と地域のつながりを大切にする
- (3) 「できた、わかった」が実感できる授業実践を心がける
- (4) 認め合い、高め合う、あたたかな中にも厳しさを持った学級経営に努める
- (5) 地域の教育力を積極的に活用する
- (6) 教職員の和と互いの切磋琢磨を大切にする

III 学校経営の基本理念

『子どもファーストを基軸にたくましく生きる子どもを育て、教職員も資質能力を高められる学校』の創造

IV 学校経営の重点・具体的方策・内容・担当

重点1 子どもの未来を保障する学校経営・運営

1 児童の学びを保障する学習環境と安心安全な学校運営の工夫・改善		
項目 (担当)	具体的方策	目標・指標
①短期的な学校経営の検証 (管理・学校評価委)	・前期 (7月)・後期 (11月) 学校評価の実施	目) 予定回数の実実施 指) 実施率が100%
②校内外で学びを継続できる学習環境の推進 (研修・ICT検討委)	・GIGAスクール及びStuDXの推進 ・メクビット、キュビナの積極的活用 ・日常授業でのICT活用実践	目) 日常的なICTの活用 指) 実施日数が登校日数の90%以上
③after コロナでの環境衛生指導の充実 (養教・校内保健委)	・「検温」「手洗い」の徹底 ・教室環境・学習形態の工夫 ・校内保健委員会開催 (適宜)	} 段階的解除
2 教職員の資質・能力の向上、学校力の向上		
項目 (担当)	具体的方策	目標・指標
①「学校力向上プラン」に基づく成果・課題の把握、検証 (教務・学力向上)	・職員全員による各種学力データの分析及び課題把握力の向上 ・3層 (伸びしろ層(正答率3割以下)・中間層・定着層) のリストアップと3層に対応した授業改革および個別支援 ・学力向上推進会議の計画的開催	目) 各種テストで8割以上到達 指) 100%分析・活用
②「できた、わかった」が実感できる授業の実践研究 (研修)	・指導主事を積極的に活用した校内授業研究と授業改革 ・利尻島教育研究会、管内教科等研究部会等の積極的参加と活用 (9月管内研での授業公開) ・生徒指導の3機能(「自己決定の場」「自己存在感」「共感的な人間関係)をいかす授業改革 ・小中合同授業研修会の実施 (年2回) ・オンデマンド研修の奨励 (教員育成指標活用)	目) 授業アンケート「授業がわかる」 指) 90%以上
③特別支援教育の充実 (教務・特支コーデ)	・個々のニーズにあった適切な教育課程の編成 ・自立活動を充実させ、個別の指導計画・支援計画の作成と活用 ・特別支援コーディネーターを中心とした校内支援委員会の開催 ・外部組織、機関との積極的な連携 ・全教職員の専門性向上を図る研修の充実	目) 計画的で定期的な校内支援委員会の開催 指) 100%実施
④服務規律・コンプライアンス意識の向上、確立 (管理・研修)	・「コンプライアンス確立研修」の実施 (年度初め・長期休業前) ・服務規律、法令遵守の徹底	目) 1年間、教職員全員が無事故・無違反 指) 100%達成
3 「新しい時代に必要な資質・能力」の育成、学力・体力向上を図る授業改革		
項目 (担当)	具体的方策	目標・指標
①資質・能力を育成する教育課程の編成・実施・検証・改善 (教務・学力向上・一貫教育推委)	・3層 (伸びしろ層(正答率3割以下)・中間層・定着層) に対応した柔軟な教育課程の実施 ・小中一貫教育における系統的な教育課程の編成	目) 育成すべき資質・能力の実態把握アンケート年2回実施 指) 100%実施
②適正な授業時数の確保と学び直し (反復学習) の工夫	・適正な授業時数の確保 ・学び直しの時間を保障する年間指導計画	目) 適正な授業時数の運用・実施

(教務)	・学習ポイントの絞り込みとAI教材活用で個別最適な学び直し	指) 実施率 100%
③「主体的な学習態度」、「学びに向かう力」の育成 (研修・教務)	・指導と評価の一体化の具体的実践 ・全学年教育相談と保護者面談の実施 ・学習履歴に基づく個別で適切な評価、助言	目) 教育相談、保護者懇談の計画的実施 指) 100%実施
④教科書内容レベルの「知識及び技能」の習得 (教務)	・学力向上サイクルの実施と検証 ・定期的な学力点検(諸テスト・SOYA サポート他)の実施と100%の学び直し ・AI教材活用による個別最適な学びの実践 ・ 全校児童 の漢検、数検の積極的な受検の促進	目) 各種テストで8割以上到達 指) 100%学び直し
⑤「思考力・判断力・表現力」 (教務・研修)	・「考えるための技法(思考スキル)」の習得 ・各教科年間指導計画、単元計画への位置づけと実践	目) 校内研実施 指) 100%作成
⑥「主体的・対話的で深い学び」、「個別最適な学び」「協働的な学び」実践研究 (研修・教務)	・理論と効果的な実践の研究 ・少人数指導と習熟度別指導の充実 ・互いの違いを認め合うための話し合い活動、グループ学習(協働的な学び)の充実	目) 校内研実施 指) 100%実施
⑦基礎体力、運動能力の向上 (指導)	・徒歩通学の奨励 ・全国体力・運動能力習慣調査の全校実施 ・「持久力」「スピード」「柔軟性」を向上させる体育の授業や取組	目) 体力・運動能力調査全学年全種目実施 指) 100%実施

重点2 生徒指導の機能を生かした指導の充実

1 落ち着いた授業・学校生活の実現、継続		
項目(担当)	具体的方策	目標・指標
①授業規律・生活規律の徹底 (教務・指導)	・全校的に取組む授業規律・学習環境整備 ・学習用具、靴箱、教室棚等の整理整頓の徹底 ・生活規律(ルール)の徹底	目) 「学校が楽しい」90%以上 指) 児童のトラブル解消率 100%
②いじめ、トラブルの芽の早期発見と解決(再発防止) (指導)	・日常観察、個別相談による状況の把握 ・いじめアンケート実施(年2回) ・児童との教育相談(年1回) ・保護者との確実な連携と正確な情報共有	
③主体性の育成を意図した指導の工夫 (指導・学担)	・学級活動、児童会活動を中心とした自己決定、問題解決機会の意図的で計画的な設定(発達段階に応じて)	
2 「許されないこと(いじめ)」の防止、「情報モラル」の醸成		
項目(担当)	具体的方策	目標・指標
①「いじめ」「情報モラル」の授業の実施(教務)	・道徳科、学級活動等の積極的でタイムリーな題材活用	目) 年2回実施 指) 100%実施
②「いじめ」「情報モラル」に関する教職員の指導力向上 (指導)	・「許されないこと(いじめ)」を明確にしたいじめ防止指導の強化 ・発達段階に応じた情報モラル教育の推進	目) 年2回実施 指) 100%実施
③ジェンダー・フリー及びセクシュアリティの特性の理解(指導)	・発達段階に応じた「性と生に関する学習(性教育)」の計画的な実施	目) 各学年3回実施 指) 100%実施
④児童の実態を共有化 (指導)	・日常的・定期的な児童・学級の実態交流と組織的指導	目) 職員終会、職員会議時に点検・交流

	<ul style="list-style-type: none"> 各種調査やアンケートの実施と交流（分析） 発達障害等への理解と適切な対応 	指) 100%実施
3 地域・社会に学び、参画できる鷺小生の育成		
項目（担当）	具体的方策	目標・指標
①地域・社会人材、資源の活用 (教務・学担・地域連携担当)	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画に基づき実施 行政、他校種、地域との連携 総合的な学習の時間における探求的な地域学習 	目) 全学年で外部人材・地域資源の活用 指) 100%実施
②地域行事への主体的参画 (指導・担当)	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事への積極的参加 	目) 保護者と連携し、積極的な参加促進 指) 100%実施

重点3 保護者・地域との協働体制の構築と児童生徒に適した小中一貫教育・異校種間連携

1 地域の教育に責任をもつ教職員としての自覚のもとに進める鷺中・保育所・利小・地域との連携		
項目（担当）	具体的方策	目標・指標
①施設隣接型小中一貫教育の推進 (一貫教育コア推委)	<ul style="list-style-type: none"> 管理職間、コアチームの小中一貫会議の開催 中学校から算数、外国語教育へ乗入授業の実施 	目) 各分掌で実施 指) 100%実施
②学校運営協議会との連携 (管理)	<ul style="list-style-type: none"> 年3回のCSによる課題の共有と熟議 CSの積極的活用 地域連携担当（教職員）の位置づけ 	目) 年3回実施 指) 100%実施
③鷺泊保育所、利尻小との連携 (教務)	<ul style="list-style-type: none"> 相互理解、情報共有と交流の場面の工夫 	目) 必要に応じて実施 指)
2 子育ての悩みを語り合える学級PTAづくり		
項目（担当）	具体的方策	目標・指標
①「子ども理解の共有」推進 (教務・指導)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連携した生活習慣・学習習慣の確立 懇談会の工夫、充実 保護者面談を年2回実施 	目) 学年懇談会、保護者個人面談の実施 指) 100%実施
②学校の情報発信力の強化 (管理)	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の公開と周知、タイムリーな話題等 学校便りの定期的な発行（月1回） 「学校安心メール」の活用 	
③地域行事への参画 (管理・PTA)	<ul style="list-style-type: none"> 「寒飲まつり」等への企画的な関わり 	目) 保護者と連携し、積極的な参加促進 指) 100%実施

重点4 教職員の働き方改革の推進

1 資質・能力を育成する授業を推進するための働き方改革の徹底		
項目（担当）	具体的方策	目標・指標
①勤務時間内に完結する教育課程の精選 (教務・コアT・学力向上推進委)	<ul style="list-style-type: none"> 授業改革を優先し、資質・能力を育成する業務の見直し、それ以外は縮小・撤廃 	目) 育成すべき資質・能力の実態把握アンケート年2回実施 指) 100%実施
②積極的な業務改善 (コアT・学力向上推進委・校務運営委)	<ul style="list-style-type: none"> 必要な組織改革、業務分担の変更（随時） 	
2 「利尻富士町アクション・プランⅡ」「道ガイドライン」を踏まえた取組の実施		
項目（担当）	項目（担当）	項目（担当）
勤務時間の把握・管理	<ul style="list-style-type: none"> C4thによる勤務時間の自己管理と自己調整 	目) 時間外勤務時間

(管理、各自)	(タイムマネジメント) ・人事評価制度を活用した意識改革 ・勤務時間外の留守番電話設置 ・連絡フォームによる出欠確認 ・ペーパーレス化	月 45 時間以内、年 360 時間以内 指) 84%以上の職員で達成(11/13 人)
②健康、休養に配慮した適正な勤務体系の設定 (管理・コア T)	・年間指導計画による授業時数の適正化 ・振替及び変形労働時間制の適用、学校閉庁日、ノー残業デイ(月 2)の設定と行事予定表への明記 ・スクールサポートスタッフの効果的な活用	
③会議・時間の効率化 (管職・コア T)	・分掌部長と校務運営会議の役割強化 ・会議運営・議題の精選(意思決定レベルの理解) ・各種会議(目標 30 分以内)	目)各種会議 30 分以内 指) 100%達成

※本校学校経営・運営における「意志決定レベル」と「場」

Level I <学級、学年の運営・生徒指導に関すること>

日程・時間割・軽微な生徒指導等 ⇒ 教師間決定(管理職と連携後、全体周知)

Level II <学年・ブロックの運営、複数学年の生徒指導に関すること>

学年行事、取組原案・学年にまたがる生徒指導等 ⇒ 学年・ブロック・分掌決定

(管理職と連携後、全体周知)

Level III <全校行事、取組原案・全校共通生徒指導等>

分掌で検討・校務運営委員会で協議 ⇒ 校務運営委員会・職員会議(校長決裁)

Level IV 緊急事項、全道・全管・全町的取組の実施 ⇒ 校長判断・決定

《学校経営推進の行程》

3月 第4回管内校長会議・第1回学校経営方針共有会議(計画)

4月 第1回管内校長会議 局ミッション訪問

5月 第2回学校経営方針共有会議・学校経営指導訪問(一次)

第1回学力向上検討会議(全国学調自己採点・分析結果・今後の方向性)

7月 前期学校評価・第2回管内校長会議・第1回管内学校経営研

8月 第2回学力向上検討会議(全国学調正式結果・到達点と今後の方向性)

9月 第3回学校経営方針共有会議・学校経営指導訪問(二次)

11月 後期学校評価

12月 第3回管内校長会議

2月 第3回学力向上検討会議(CRT結果・到達点と今後の方向性)